

事例

- 76歳男性、拡張型心筋症。植え込み型除細動器が挿入され、心不全と不整脈で入院を繰り返している
- 前回ICUに入院、難治性不整脈に肺炎を合併、気管挿管、人工呼吸管理となった。致命的な不整脈の発作を繰り返し、生死をさまよった
- 3週間のICU管理とリハビリ後に退院
- 日常生活はほとんど寝たきり、トイレはポータブル
- 主治医は予後を半年以内と予想している
- 今日外来に代理決定者である自分のこどもとやってきました
- しかしながら、代理決定者はすでに仕事に出かけてしまい、患者は外来でひとりで車いすに乗っています
- 医師からの紹介を受けて、今後の治療について話し合おうと考えています
- 患者は、もしもの時について話す心構えはできています

ロールプレイの目標

- ・ 一般的なルールを使ってみる
- ・ 病状の認識を確かめる
- ・ 話し合いを導入する
- ・ 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- ・ 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- ・ いのちに対する考え方を探索する
- ・ 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する
- ・ 代理決定者の裁量の余地について尋ねる

個人作業

あなたが患者を担当する医療者だったら、どんな言葉で話し始め、どのように声掛けをするか書き出してみましょう。(7分)